

美祢社会復帰促進センター 「再誕の丘」だより

「再誕の丘」とは

平成16年12月15日に、南野知恵子法務大臣(当時)が、美祢テクノパークを視察されました。

その折、かつて立ち並んでいた炭坑住宅が、美祢社会復帰促進センターに生まれ変わることになり、この施設で受刑者が社会復帰するために生まれ変わることを心から願ってこの丘を「再誕の丘」と命名されたものです。



目次：

センター長ご挨拶	1
総括業務責任者ご挨拶	2
「ミッション・ビジョン・バリュー」について	3
「美祢spirits」	4

美祢社会復帰促進センター長ご挨拶

センター長 ニノ宮 潮

第2期事業へ移行して



平素から当センターの運営に対して皆様のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

本年4月から当センターはPFI手法から公共サービス改革法による官民協働体制に移行し、これに伴い、これまで民間事業者が行ってきた業務の一部を国が行うことになりました。具体的には、総務業務では人事事務支援、身分帳簿管理、各種統計作成支援、処遇情報管理システム、備品・消耗品管理など、警備業務では構内外巡回警備、総合監視卓監視、夜間・休日の収容棟内の巡回、保安区域内の検査、他施設・外部病院への護送支援、運動・入浴監視支援など、教育業務では宗教教誨師・篤志面接委員との連絡調整、各種レクリエーションといったものを国が行います。これとは逆に、収容関連サービス業務のうち、これまでセンター生(受刑者)に刑務作業として行われてきた調理(センター生の給食)については、民間事業者が行います。これまでの施設運営によって蓄積してきた経験を踏まえて、より充実した矯正処遇を展開し、センター生の出所後の再犯を防止することで国民の皆様が安心安全に暮らせる社会を実現できるよう、「地域との共生」、「官民協働」、「人材の再生」をモットーに官民が一つとなって力を尽くす所存です。

また美祢市の「共生のまちづくり推進プロジェクト」によって、当センターは美祢市の資源の一つに位置付けられ、各種産業の担い手不足を始めとした地域課題解決や美祢市の魅力PRに向け連携しています。

その一環として、昨年度は、JAL、美祢市、法務省が連携して製作した秋芳洞プレミアムフリーパスとして利用できるチタン製オリジナルカードのPR用ポスターやキャッチコピーを当センターの職業訓練によってセンター生が制作しました。こうした取組を通して美祢市の地方創生や地域共生の実現を目指し、美祢市と「共生のまちづくり」を推進していますので、この場をお借りしてご紹介します。拘禁刑が本年6月から施行されましたが、引き続き官民協働の強みを生かしながら、矯正のフロントランナーとして、我が国刑事施設の先頭に立つ施設運営を実現してまいりますので、国民の皆様を始め関係機関のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

総括業務責任者ご挨拶

株式会社小学館集英社プロダクション
総括業務責任者 勝田 浩章



このたび「競争の導入による公共サービスの改革に関する法律」（以下、公サ法）の下で開始となりました美祢社会復帰促進センター第2期事業におきまして、総括業務責任者を務めます、株式会社小学館集英社プロダクションの勝田です。

個人的なことを申しますと、山陽小野田市出身の年男（巳年）です。元々は県内の児童養護施設職員をしていましたが、美祢センターには第1期PFI事業開始時から外部講師・民間職員として携わり、約3年ぶりの復帰となります。昨年の12月末までは、兵庫県加古川市にあります同じく官民協働施設である播磨社会復帰促進センターで総括業務責任者を務めていました。播磨センターでは加古川市八幡町宗佐地区の皆さんと一緒にSDGs「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」に取り組み、受刑者が地場産業（国産綿花・靴下産業）復活のお手伝いをさせてもらったり、これを基軸に農福連携につなげたりしていました。また、地元の農家さんや子ども食堂さん・社会福祉協議会さん・教育委員会さんともコラボイベントを開催することで、様々な経験や活動をさせていただきました。

美祢センターにおいても官民職員はもちろんのこと、センター生（ご存じかとは思いますが、美祢センターでは受刑者のことをセンター生と呼んでおります）が地域をはじめ様々な領域・年代・当事者の人々と交流を重ね、これらをきっかけとして更生・成長していく機会を創出していけるよう積極的に取り組んで参りたいと思っています。

美祢センターが第1期PFI事業において地域の皆様と官民で築き上げてきた18年間の実績を基盤に、今後も官民協働刑務所の基本理念である【地域との共生】【官民協働】【人材の再生】の三本柱を揺るがないものとし、第2期公サ法事業では更なる新しいステージに皆さんと一緒に昇っていきたいと考えています。

ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ミッション・ビジョン・バリューについて

本年2月、矯正行政のミッション・ビジョン・バリューが策定されました。ミッション・ビジョン・バリューとは、社会における組織の存在意義や使命、目指すべき方向性、組織メンバーの拠り所になるものです。策定の背景には、矯正行政が社会状況に応じて様々に変化していこうとする中、これを前向きに捉えている職員がいる一方で、「これまでの自分たちの取組が否定されているのではないか」と受け止めている職員も少なくないという現状を踏まえ、職員自らが、これからの矯正行政の目指すべき方向やその在り方を再確認・再定義し、自らの仕事に誇りとやりがいを持ちながら働くことができる環境を生み出していくことにあります。

今後、ミッション・ビジョン・バリューの存在を内外へ周知することを計画しておりますので、御承知おき願います。

ミッション



その組織が社会に対して果たすべき
役割、目的・使命



ビジョン

その組織が将来、成し遂げようと
する望ましい状態

バリュー

ミッションやビジョンの達成に向け
て一人一人の職員が持つべき価値観
や行動基準



美祢社会復帰促進センター運営理念 「Mine Spirits (ミネスピリッツ)」について

当センターの運営は、本年4月からPFI手法から公共サービス改革法による官民協働体制に移行していますが、前事業期から引き継いでいる理念があります。それが、「Mine Spirits (ミネスピリッツ)」です。

これは、センター生の円滑な社会復帰と再犯防止を促進するには、民間事業者と国職員で共通認識を持ち、一体となって取り組むことが不可欠であるため、その拠り所となる基本的な考え方と目指す方向性を示したものになります。

平成28年1月に制定され、本年3月までは3項目を掲げていましたが、本年4月から1項目が追加されて4項目となりました。その内容は、

「美祢でしか出来ないオンリー美祢を目指せ！」

「官民総力結集せよ！」

「目指せ！明るい3K(職員の絆・官民協働・地域との共生)」

「地域に親しみ、地域に親しまれるセンターを目指せ！」

となっています。

この理念を達成するべく、今後も適正な施設運営に努めて参りますので、御指導御鞭撻のほど、どうぞ、よろしくお願いいたします。



美祢社会復帰促進センター
MINE (マイン) ちゃん



国民に理解され、支えられる刑務所へ

編集・発行

美祢社会復帰促進センター

<http://www.mine-center.go.jp/>

お問い合わせ先

〒750-0693

山口県美祢市豊田前町麻生下10番地

TEL: 0837 (57) 5131

FAX: 0837 (57) 5161